

# 平成30年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

岩手県企業局

- 工業用水供給量は、実使用水量は増となったが、施設の更新工事に係る給水停止に伴う基本使用水量の減により、**料金収入は、前年度比0.4%減の8億3千4百万円余**となった。
- **経常収益**は、料金収入が減となったが、事業外収益の増により**前年度比0.3%増の9億1千万円余**となり、**経常費用**は、人件費の減等により**前年度比3.7%減の8億6百万円余**となった。
- この結果、**経常利益、純利益**は、**前年度比46.0%増の1億4百万円余**となった。

## 平成30年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		910,896	908,521	2,375	0.3%
経常費用		806,251	836,830	△ 30,579	△ 3.7%
<b>経常利益</b>		<b>104,645</b>	<b>71,691</b>	<b>32,954</b>	<b>46.0%</b>
特別利益		0	0	—	—
特別損失		0	0	—	—
<b>純利益</b>		<b>104,645</b>	<b>71,691</b>	<b>32,954</b>	<b>46.0%</b>

## 1 工業用水の供給状況

実使用水量は増となったが、施設の更新工事に係る給水停止に伴い基本使用水量は減となった。

(単位：千m<sup>3</sup>/年)

区分	年度	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較		備 考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
基本使用水量		14,182	14,298	△ 116	△ 0.8%	施設の更新工事等に係る給水停止に伴う基本使用水量の減
実使用水量		7,235	6,926	309	4.5%	使用実績による実使用水量の増
うち 超過水量		41	35	6	17.1%	

※ 供給先：北上工業団地、岩手中部工業団地に立地している20事業所

※ 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による計算値とは必ずしも一致しない。

<1m<sup>3</sup>当たりの給水単価> (平成23年4月1日から) (税抜)

料金種別	工業用水料金の額	ろ過水料金の額※
基本使用水量 (基本料金)	42円	35円
使用水量 (使用料金)	3円	3円
超過水量 (超過料金)	90円	—

※ろ過水使用の場合は、工業用水料金に加算

## 2 経常収益の状況

基本使用水量の減により料金収入は減 (3,262千円) となったが、事業外収益の増 (5,608千円) 等により、前年度比2,375千円 (0.3%) 増の910,896千円となった。

## 3 経常費用の状況

人事異動による人員変更に伴う人件費の減等により、前年度比30,579千円 (3.7%) 減の806,251千円となった。

## 4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益、純利益は、前年度比32,954千円 (46.0%) 増の104,645千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区 分	経営目標	実 績	増 減	備 考
経常利益	33,000	104,645	71,645	料金収入は減となったが、修繕費、委託費等の減により経常利益が増
経常収支比率	103.0%	113.0%	10.0	